

日比谷図書文化館 開館5周年記念講演会

日比谷図書文化館は、2016年11月4日に開館5周年を迎えます。「図書館機能」「ミュージアム機能」「文化活動・交流機能」「アカデミー機能（カレッジ）」を兼ね備えた複合文化施設、その四つの機能により本や資料を提供するのではなく、“想像力”や“好奇心”を刺激して、能力を引き出すお手伝いをする施設、つまり「知の拠点」となることを目指しています。

この度、開館5周年にあたり日比谷図書文化館にふさわしいテーマの記念講演会を開催します。

講演会①

野波健蔵さんと未来を読む ドローンが変える社会

ドローンはいまや、ドローン・ジャーナリズムやエンタテインメントから、農業支援、インフラ点検、測量、警備、災害対応まで、その活躍の場を広げ、着実に進化しています。図書館もドローンと無縁ではなく、今年4月には秋田県仙北市の近未来実証特区にて、ドローンによる図書配送の実証実験も行われています。

そこで、空の産業革命として、世界的に注目を集める小型無人機ドローン開発の第一人者である野波健蔵さんを講師にお迎えし、ドローンとは何か、何ができるのか、ドローン特区での実証実験も含めて、ドローンの技術や法整備、利活用やその可能性についてお話しいたします。

なお、当日は日本科学未来館の科学コミュニケーターである志水正敏さんがナビゲートします。

日時

2016年11月2日（水）19:00～21:00（18:30開場）

講師 野波 健蔵（のなみ けんぞう）

株式会社自律制御システム研究所 代表取締役

1979年東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程修了、1985年米航空宇宙局（NASA）研究員・シニア研究員、1994年千葉大学教授、2008年千葉大学理事・副学長（研究担当）、同年から千葉大学産学連携知的財産機構長も兼任。1998年からドローンの研究開発を開始し、2001年日本で最初に小型無人ヘリの完全自律制御に成功する。



野波 健蔵

ナビゲーター 志水 正敏（しみず まさとし）

日本科学未来館・科学コミュニケーター

2013年東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了、同年より現職。

研究者による実証実験イベント「ともにつくるサイセンタン！」などを手がける。

講演会②

再読の愉しみ

読書の楽しみにはさまざまな形がありますが、かつて読んだ本を、時を隔ててもう一度読んでみる「再読の愉しみ」も多くの読書人や作家が記しているところです。幼い頃に読んだ名作を、大人になって読んでみる。青年のときに感動した作品を、老年の身で再読する。かつての自分と今の自分と二人の自分がいて、二重の読み方ができる…。過去に感動した作品の再読は、作品の未知の部分や未知の自分の発見をもたらしてくれます。そんな再読の愉しみを読書の達人として知られている池内紀さんがお話します。

日時

2016年11月5日(土) 14:00~15:30 (13:30開場)

講師 池内 紀 (いけうち おさむ)

ドイツ文学者・エッセイスト

1940年兵庫県姫路市生まれ。主な著書に『ゲーテさんこんばんは』(桑原武夫学芸賞)、『海山のあいだ』(講談社エッセイ賞)、『二列目の人生』、『恩地孝四郎』(読売文学賞)、『亡き人へのレクイエム』など。訳書に『カフカ小説全集』(全6巻、日本翻訳文化賞)、『ファウスト』(毎日出版文化賞)など。町歩き、自然にまつわる本も、『森の紳士録』、『ニッポン周遊記』など多数。



池内 紀

■各講演会共通■

- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。